

新会長に聞く

日本電線工業会の会長に古河電工の森平英也社長が就いた。社会環境の変化に伴い電線産業に求められる対応や、会活動の重点項目などを聞いた。

(古瀬 唯)

「まずは抱負から。の工業会長として社会基
「電線産業は重要イン盤を支える重要事業を担
フラの電力・通信ネットう会員企業と日本・世界
ワーク構築に不可欠な製の発展に寄与したい。ま
品を供給する業界だ。そた会員企業が持続的に発



日本電線工業会

森平 英也氏(古河電工社長)

組む」

「今後見込まれる社会の変化と電線産業に求められることは。」

「少子高齢化や長時間労働などさまざまな社会課題の解決へロボットやAIの導入が進むだろう。また低炭素化に向け線をつなぐ部品や施工技術、発電・受電側の状況

展し社会的使命を担い続けられる環境を引き続き整備する。政府や関係団体などとも連携して取り

ため必要なことは。」

「第一に情報収集し社会の要請を的確に把握すること。その上で市場投入すべき製品のコンセ

「少子高齢化の中で管存在意義は大きい。もし履行状況を追跡調査するほか、課題になっている件名先物契約の実態や改善点をまとめた上で議論

た再生可能エネルギー普

していくことも必要だ」

「工業会の重要課題については。」

「環境問題対応でCO₂排出を抑える。当面の目標は2030年度の排出量を13年度比37%減

「少子高齢化の中で管存在意義は大きい。もし履行状況を追跡調査するほか、課題になっている件名先物契約の実態や改善点をまとめた上で議論

を支援したい。加えて海外を含めた市場環境・技術動向の情報収集・分析にも注力する」

「人材確保にはどのような対応策を。」

「少子高齢化の中で管存在意義は大きい。もし履行状況を追跡調査するほか、課題になっている件名先物契約の実態や改善点をまとめた上で議論

「少子高齢化の中で管存在意義は大きい。もし履行状況を追跡調査するほか、課題になっている件名先物契約の実態や改善点をまとめた上で議論

社会変革に対応し新製品投入を

人材の確保・定着など支援

及や自動車電動化も進展する。そういった社会の変革に向けて電線への要求はより複雑化・高度化する。それに対応する新製品の開発や提供に我々は努めなければならぬ。また社会問題となっている太陽光発電所などでの電線盗難に対し自治体や警察と協力して対応したい」

「環境変化に対応し新製品を創出し続ける

「環境変化に対応し新製品を創出し続ける

「環境変化に対応し新製品を創出し続ける

「環境変化に対応し新製品を創出し続ける

「環境変化に対応し新製品を創出し続ける

「時代の状況の変化に合わせ、業界が持続可能であるため改めなければならない商慣習もある。」

「現場を支える若い人材の確保へ、発信すべき仕事の意義ややりがい。」

「電線は飲み水のように当たり前の存在となっているが生活に不可欠で引適正化ガイドラインの

「電線は飲み水のように当たり前の存在となっているが生活に不可欠で引適正化ガイドラインの

「電線は飲み水のように当たり前の存在となっているが生活に不可欠で引適正化ガイドラインの

「電線は飲み水のように当たり前の存在となっているが生活に不可欠で引適正化ガイドラインの

「電線は飲み水のように当たり前の存在となっているが生活に不可欠で引適正化ガイドラインの

「電線は飲み水のように当たり前の存在となっているが生活に不可欠で引適正化ガイドラインの

「電線は飲み水のように当たり前の存在となっているが生活に不可欠で引適正化ガイドラインの

「電線は飲み水のように当たり前の存在となっているが生活に不可欠で引適正化ガイドラインの

「電線は飲み水のように当たり前の存在となっているが生活に不可欠で引適正化ガイドラインの